

Title	豊中市等との地域連携事業について
Author(s)	
Citation	懐徳堂センター報. 2006, 2006, p. 111-115
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/24417">https://hdl.handle.net/11094/24417</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 豊中市等との地域連携事業について

平成十七年度に本センターが行った豊中市および豊中市教育委員会等との連携事業について、下記の通り三件を報告する。

### 豊中市民ギャラリーにおける懷徳堂資料展示

平成十七年五月三日(火)から八日(日)にかけて、豊中市・豊中市教育委員会・財団法人懷徳堂記念会との共催事業として、豊中市立市民ギャラリー(豊中市本町)において「大阪大学連携展 懷徳堂資料展」を開催した(下段写真)。

展示した資料等は下記の通り(B番号を記した資料は、懷徳堂遺物・水哉館遺物・重建懷徳堂蒐集資料などである)。

- ・ 竹山履軒諸先生貼交屏風 (B 19)
- ・ 出懷徳堂歌(並河寒泉) (B 56)
- ・ 中井履軒像 (B 70)
- ・ 中井竹山像 (B 71)
- ・ 冽庵先生双幅(五井蘭洲) (B 77)
- ・ 墨菊図(中井髻庵賛) (B 87)
- ・ 鴻池稻荷碑拓本(平成八年度財団購入資料)



懷徳堂センター

・騎馬武者図(中井蕉園賛)(平成八年度財団購入資料)

・多言書幅(三宅石庵)(平成十年度財団購入資料)

・春花見図(蕨関月画・中井竹山賛)(平成十年度財団購入資料)

・陶淵明図(三宅春楼筆、竹山履軒賛)(平成十一年度財団購入資料)

・高士觀瀑図(伝狩野光教画・石庵賛)(平成十二年度財団受贈資料)

・旧懷徳堂復元CGタペストリー2点(玄関・講堂)

・資料パネル7点(旧懷徳堂平面図・木製天図・紙製天図・潮図・

方図・紙製深衣・入徳門聯)

・解説パネル2点(関係年表・関係系図)

・貴重資料レプリカ5点(木製天図・紙製天図・潮図・方図・

・バーチャル懷徳堂  
紙製深衣・入徳門聯)

展示室面積は一〇六㎡、会期中の来場者は約百名であった。また会期中の五月七日(土)に、井上了職員が講演および資料の説明を行った。講演および資料説明の来聴者は約二十名。

会場となった市民ギャラリーは阪急豊中駅の高架下であり、交通が便利である反面、やや判りにくい場所でもあった。にもかかわらず事前の予想を超える動員数を得たのは、パンフレットや地元ケーブルテレビなどによる事前広報によるところが大きい(回収されたアンケートの分析から)。

なお、会場は書画作品の展示などを想定した施設であり、照明などの点で充分な対応ができなかったのが遺憾である。また会期が大型連休中であったこともあり、本学からの説明要員を確保できず、説明パネルを資料の傍らに掲示するのみにとどまった。

## 豊中まつり二〇〇五 出展と講演

平成十七年八月六日(土)から七日(日)にかけて、豊中市・豊中市教育委員会の協賛、財団法人懷徳堂記念会・大阪大学文学研究科の主催、豊中まつり実行委員会との共催事業として、市民会館(豊中市曾根東町)において「懷徳堂資料展」を開催した。  
展示した資料等は下記の通り。

・寅八年定額(中井竹山)(B12)

・婦馬放牛図対幅(谷文晁画)(B15)

・竹山履軒諸先生貼交屏風(B19)

・木司令(中井蕉園)(B20)

・懷徳堂木板方爐(B22)

・山階宮下賜菊章刀子・錦囊(B40)

・螺鈿韻匣(B50)

・解師伐衰図(中井履軒賛)(B62)

・宝曆八年定書(『大坂学校書類』卷子)(中井竹山)(B125)

・頭微鏡記(中井履軒手稿『弊帚統編』)(水哉館遺書)

・『越俎弄筆』(中井履軒手稿)(水哉館遺書)

・『史記雕題』(中井履軒手稿)(水哉館遺書)

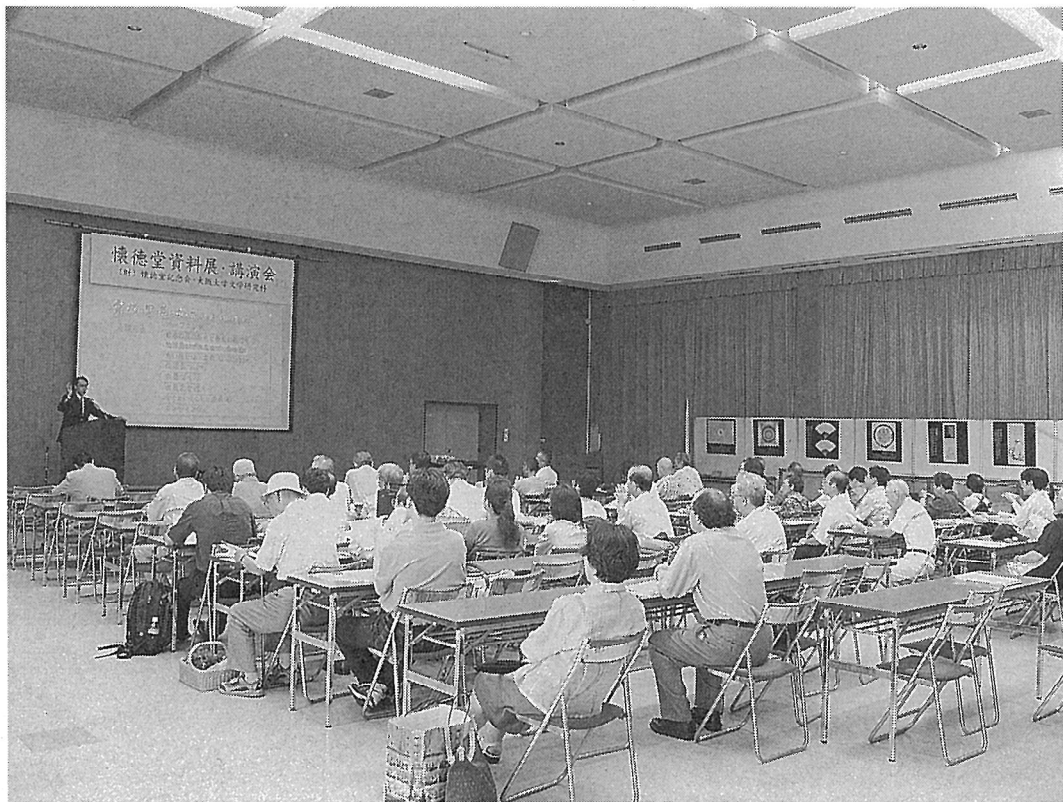
・竹之図(石門露珍筆、中井竹山賛)(平成三年度財団購入資料)

・『越俎戴筆』(中井履軒手稿)(新田文庫)

・『華胥国物語』版木(新田文庫)

・中井木菟麻呂キリスト教関係草稿(新田文庫)

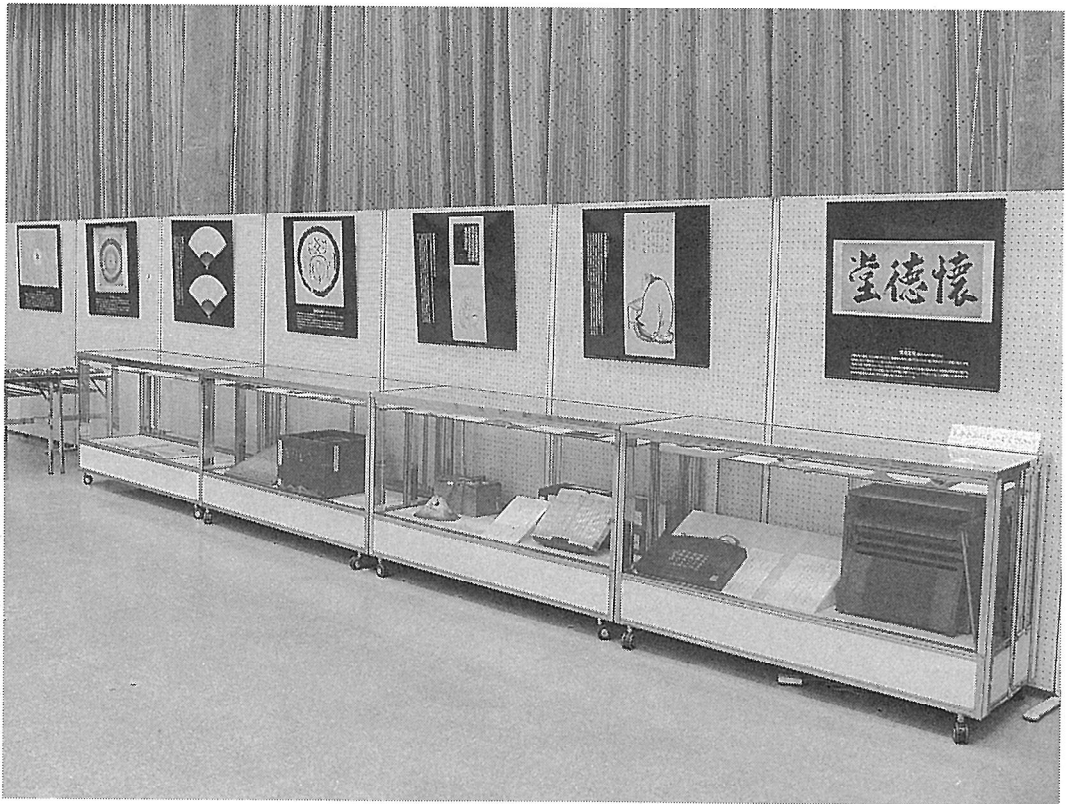
- ・『左九羅帖』（中井履軒手稿）（新田文庫）
  - ・『画携』（中井履軒手稿）（新田文庫）
  - ・天体図解（伝中井履軒作）（新田文庫）
  - ・博山香炉（中井履軒手製）（新田文庫）
  - ・象図（岩崎象外画・中井履軒賛）（懷徳堂センター新収資料）
  - ・古梅園墨2点（中井竹山撰）（懷徳堂センター新収資料）
  - ・資料パネル14点（木製天図・紙製天図・潮図・方図・入徳門聯・懷徳堂幅・中井竹山像・中井履軒像・木司令・懷徳堂瓦当拓本・華胥国物語版木・越俎弄筆・聖賢扇・旧懷徳堂平面図）
  - ・解説パネル2点（関係年表・関係系図）
  - ・貴重資料レプリカ4点（木製天図・紙製天図・潮図・方図・入徳門聯）
  - ・バーチャル懷徳堂
- 本展示は「豊中まつり二〇〇五」と連携して開催され、「豊中まつり」の来場者（本件展示以外のイベントを目的とする来場者）が本展示へ流れてくることが予想された。ただし、会場となった市民会館は、「豊中まつり」のメイン会場となる豊島公園とは阪急皆根駅をはさんで反対側に位置していたため、全体の来場者のべ十八万七千人に対し、「懷徳堂資料展」への来場者は約三百人であった（いずれも主催者発表）。
- また、八月六日（土）に「大坂学問所「懷徳堂」の歴史」と題して井上了職員が講演を行い、七日（日）には「奈良 大阪 墨の道」発見された懷徳堂の墨型」と題して湯浅邦弘教授が講演を行った。来聴者はのべ約七十名。



なお、当日配布した資料紹介等の印刷物に、懐徳堂に関する概説的な説明文を含めておいたが、配布物をまとめて不透明な封筒に封入したため、これを開披せずに「懐徳堂とは何か」を説明員に質問する来場者が多かった。懐徳堂に関する概説的なパネルを用意しておくべきであったろう。ただしこれは、従来とは異なる層の（懐徳堂についてまったく知識のない）来場者を開拓したことの傍証とも評価し得る。

またイベントの性格上、酒気を帯びた来場者が若干ながら認められ、トラブルも生じた。さらに、展示会場の夜間警備について、施設管理者と警備担当者との間に連絡ミスがあり問題が生じた。貴重資料とくに軸物に関する警備のありかたや、ひいては学外における展示そのものについても慎重に考えるべきであろう。

豊中まつり二〇〇五については、同実行委員会事務局『豊中まつり通信総括号』（二〇〇五年一月）にて総括されているので、あわせて参照されたい。



## 市民活動情報サロンにおけるパネル展示

平成十七年八月九日（火）から三十一日（水）にかけて、豊中市市民活動情報サロン（豊中市本町、阪急豊中駅ビル二階）の広報ショーウィンドーにて、懷徳堂関係のパネル展示を行った。展示した資料・パネルは、下記の通り。

- ・ 解説パネル2点（関係年表・「懷徳堂とは」）
- ・ 旧懷徳堂復元CGタペストリー1点（玄關）
- ・ 資料パネル2点（越俎弄筆・木製天図）

本件展示は、直前の「豊中まつり」に連携した事業として、市教育委員会の協力を受けて行われた展示である。なお懷徳堂に関する概説的なパネルを展示したが、これは財団法人懷徳堂記念会が大阪市立博物館（当時）での展示用に作成したもので、今回これに若干のクリーニングを施して展示した。

（井上記）

